

## 平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	プロダクトデザイン概論	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	吉橋	
学 年	2年			教科番号	2301	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	○					
授業概要	プロダクトデザインの知識を検定取得に向けた学習の中で学ぶ					
到達目標	<p>①各章の小テストで7割以上の得点を獲得できる。</p> <p>②プロダクトデザイン検定 2級を想定したテストで90点以上の点数を獲得できる。</p>					
教材名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロダクトデザインの基礎 スマートな生活を実現する71の知識 JIDA「プロダクトデザインの基礎」編集委員会 ワークスコーポレーション</li> <li>・授業配布プリント</li> </ul>					
資格の取得目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益財団法人日本インダストリアルデザイナー協会主催 プロダクトデザイン検定 2級の合格を目指す</li> </ul>					
授業内容と教員の実務経験の関連性	自動車関連部品企業で設計業務に従事していた教員					
履修にあたっての留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の理解度をはかるため定期的に小テストを実施し、それも評価に含める。</li> <li>・スマートフォンアプリやwebでの動作検証、スマートフォンアプリやweb教材の参照、e-ラーニングでの学習を除きスマートフォンなどの使用は禁止する。</li> </ul>					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	60%	0%	20%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	第0章 プロダクトデザイン概論
2	〃
3	第1章 プロダクトデザインの背景
4	〃
5	第2章 社会とプロダクトデザイン
6	〃
7	〃
8	第3章 プロダクトデザインとビジネス
9	〃
10	第4章 デザインプロセス
11	〃
12	〃
13	第5章 ユーザ調査のための手法
14	〃
15	〃
16	第6章 コンセプト作成のための手法
17	〃
18	〃
19	〃
20	第7章 視覚化のための手法
21	〃
22	〃
23	第8章 デザイン評価と科学的研究
24	〃
25	〃
26	第9章 マーケティングとデザイン
27	〃
28	第10章 技術とデザイン
29	〃
30	〃
31	学期末テスト準備
32	学期末テスト

## 平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	プロダクトデザイン実習	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	吉橋	
学 年	2年			教科番号	2302	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	△		○			
授業概要	CADとデジタルファブ리케이션機器を用いて作品制作を行う					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デジタルファブ리케이션機器や、工具(超音波カッター、リユーターなど)を使って作品を作成できる</li> <li>・ Fusion360を使って写実的なレンダリングができる</li> <li>・ マニュアルを見ずに3Dプリンタを使って立体物の出力ができる</li> </ul>					
教材名	・ 授業配布プリント					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務 経験の関連 性	自動車関連部品企業で設計業務に従事していた教員					
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提出物の項目は、完成度だけでなく提出期限が守られていたかなども評価対象とする。</li> <li>・ スマートフォンアプリやwebでの動作検証、スマートフォンアプリやweb教材の参照、e-ラーニングでの学習を除きスマートフォンなどの使用は禁止する。</li> </ul>					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	50%	30%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	fusion360の説明 fusion360の基本操作について
2	〃
3	fusion360のモデリング練習①
4	〃
5	fusion360のモデリング練習②
6	〃
7	Tスプラインモデリングの練習①
8	〃
9	Tスプラインモデリングの練習②
10	〃
11	レンダリング
12	〃
13	3Dプリンタについて 作品制作開始
14	〃
15	デザイン企画 企画書作成
16	〃
17	デザイン企画 企画書作成
18	〃
19	デザイン設計 設計書作成
20	〃
21	デザイン設計 設計書作成
22	〃
23	デザイン試作
24	〃
25	デザイン試作 デザイン評価 デザイン修正
26	〃
27	デザイン評価 デザイン修正・再試作
28	〃
29	デザイン評価 デザイン修正・再試作
30	〃
31	まとめ
32	〃

## 平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	機械工学Ⅱ	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	吉橋	
学 年	2年			教科番号	2303	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	機械設計者に必要な有限要素解析手法をFusion360のCAE機能を使用しながら学ぶ					
到達目標	①Fusion360のCAE機能を使って、構造解析の結果レポートを抽出できる ②Fusion360のCAE機能を使って、出力された結果を見て、現時点でのベストプラクティスな形状に改善・変更ができる					
教材名	・授業配布プリント					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務 経験の関連 性	自動車関連部品企業で設計業務に従事していた教員					
履修に あたっての 留意点	・提出物の項目は、完成度だけでなく提出期限が守られていたかなども評価対象とする。 ・授業の理解度ををはかるため定期的に小テストを実施し、それも評価に含める。 ・スマートフォンアプリやwebでの動作検証、スマートフォンアプリやweb教材の参照、eラーニングでの学習を除きスマートフォンなどの使用は禁止する。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	20%	40%	20%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	振り回りテスト・CAEとは 1年次の内容の振り回りテストを行う(評価対象外)、CAEの基礎知識について講義を行う
2	CAEソフトによるシミュレーション①片持ち梁 片持ち梁に荷重をかけるシミュレーションでCAEの操作を学ぶ CAEに必要な条件設定ができるようになる
3	CAEソフトによるシミュレーション②穴の開いた鋼板 解析結果の見方について講義を行う 複数パターンの解析条件を設定し一人で解析ができるようになる。
4	荷重について 静荷重と動荷重についての講義を行う
5	応力・ひずみについて 応力・ひずみについての講義を行う
6	CAEによるシミュレーション③すべり軸受 強度改善が必要な個所を検討し、改善した形状で再度解析を行い、ベストプラクティスを検討できるようになる
7	弾性変形と塑性変形 弾性変形と塑性変形についての講義を行う
8	縦弾性係数 縦弾性係数についての講義を行う
9	CAEによるシミュレーション④強制変位 鉤爪形状に強制変位を与えた解析を行う。 強度改善が必要な個所を検討し、改善した形状で再度解析を行い、ベストプラクティスを検討できるようになる
10	安全率 安全率についての講義を行う
11	CAEによるシミュレーション⑤応力緩和-1 台車にかかる応力値から安全に使用できる応力値までの改善をCAEで検討する
12	CAEによるシミュレーション⑥応力緩和-2 ハンガーにかかる応力値から安全に使用できる応力値までの改善をCAEで検討する
13	応力集中 応力集中についての講義を行う
14	CAEによるシミュレーション⑦応力緩和-3 角は取れ 応力集中を緩和する方法をCAEで検討する
15	CAEによるシミュレーション⑧応力緩和-4 断面急変はNG 応力集中を緩和する方法をCAEで検討する
16	学期末テスト 筆記とCAEシミュレーションのテストを行う

## 平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	CAD実習（機械上級Ⅱ）	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	吉橋	
学 年	2年			教科番号	2304	単位数 8.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	△		○			
授業概要	CAD利用技術者試験1級 機械の取得を目指しながら、機械製図の仕方や製図記号、図面の読み方などを学ぶ					
到達目標	<p>①機械製図における作図ルールに基づき、図面を描くことができる</p> <p>②3Dデータから2D図面へ描き変えができる</p> <p>③現実の物体を測定してCADでモデリングができる</p> <p>④機構の知識・構造を学び、簡単なおもちゃを設計できる</p>					
教材名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2018年度版 2次元CAD利用技術者試験2級・基礎公式ガイドブック コンピュータ教育振興協会 日経BP</li> <li>・授業配布プリント</li> </ul>					
資格の取得目標	<p>2次元CAD利用技術者試験2級を未合格の学生は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年次 6月、11月の2次元CAD利用技術者試験2級 合格を第一目標とする</li> <li>1年次ならびに2年次6月に2次元CAD利用技術者試験2級を合格済の学生に関しては</li> <li>・2年次 11月の2次元CAD利用技術者試験1級 合格を第1目標とする。</li> </ul>					
授業内容と教員の実務経験の関連性	自動車関連部品企業で設計業務に従事していた教員					
履修にあたっての留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の理解度をはかるため定期的に小テストを実施し、それも評価に含める。</li> <li>・スマートフォンアプリやwebでの動作検証、スマートフォンアプリやweb教材の参照、e-ラーニングでの学習を除きスマートフォンなどの使用は禁止する。</li> </ul>					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	10%	70%	0%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	CAD操作振り返り、機械図面をCADでトレースする
2	〃
3	〃
4	〃
5	〃
6	〃
7	〃
8	〃
9	〃
10	〃
11	〃
12	〃
13	〃
14	〃
15	〃
16	〃
17	CAD利用技術者試験 対策 CAD利用技術者試験1級と2級の合格に向けた対策授業を行う
18	〃
19	〃
20	〃
21	〃
22	〃
23	〃
24	〃
25	〃
26	〃
27	〃
28	〃
29	〃
30	〃
31	〃
32	〃



回数	講義内容
33	CAD利用技術者試験 対策 CAD利用技術者試験1級と2級の合格に向けた対策授業を行う
34	〃
35	〃
36	〃
37	〃
38	〃
39	〃
40	〃
41	〃
42	〃
43	〃
44	〃
45	〃
46	〃
47	〃
48	〃
49	機構について講義 機構の設計 見本を元に歯車をCADで作図
50	機構部品で動くおもちゃの設計
51	〃
52	〃
53	〃
54	〃
55	〃
56	〃
57	〃
58	〃
59	〃
60	〃
61	アニメーションの作成 前期に制作した機械要素の作品をベースにfusion360のモーションスタディ機能でアニメーションを作成する
62	〃
63	学期末テスト製図と3Dモデリングのテストを行う
64	〃

## 平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	建築法規Ⅱ	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	植草	
学 年	2年			教科番号	2305	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	建築基準法のうち、主に集団規定についての知識を、オートキャドの操作を実習しながら習得する。					
到達目標	<p>①建築物の用途に関する規定（用途規制）について理解する。</p> <p>②建築物の高さの制限（絶対高さ制限、斜線制限、日影規制）について理解する。</p> <p>③建築物の大きさの制限（容積率、建ぺい率など）について理解する。</p> <p>④敷地と道路の関係に関する規定（接道義務など）について理解する。</p> <p>⑤設問に対して、適正なキャド操作を円滑に行う。</p>					
教材名	配布プリント					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	建築設計・CAD等の企業を経営する教員					
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提出物の項目は、完成度だけでなく提出期限が守られていたかなども評価対象とする。</li> <li>・ 授業の理解度ををはかるため定期的に小テストを実施し、それも評価に含め</li> </ul>					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	10%	10%	30%	50%	0%	100%

回数	講義内容
1	オートキャド実習① コマンド操作編 ・円滑なコマンド操作及び短縮コマンド解説(ハンズオンデータの反復練習)
2	オートキャド実習① コマンド操作編 ・円滑なコマンド操作及び短縮コマンド解説(ハンズオンデータの反復練習)
3	オートキャド実習② コマンド操作編 ・円滑なコマンド操作及び短縮コマンド解説(ハンズオンデータの反復練習)
4	オートキャド実習② コマンド操作編 ・円滑なコマンド操作及び短縮コマンド解説(ハンズオンデータの反復練習)
5	オートキャド実習③ 作図練習編 ・単線平面間取図の作成(ハンズオンデータを使用)
6	オートキャド実習③ 作図練習編 ・単線平面間取図の作成(ハンズオンデータを使用)
7	オートキャド実習④-1 作図練習編 ・平面詳細図の作成(ハンズオンデータを使用)
8	オートキャド実習④-1 作図練習編 ・平面詳細図の作成(ハンズオンデータを使用)
9	オートキャド実習④-2 作図練習編 ・平面詳細図の作成(ハンズオンデータを使用)
10	オートキャド実習④-2 作図練習編 ・平面詳細図の作成(ハンズオンデータを使用)
11	オートキャド実習④-3 作図練習編 ・平面詳細図の作成(ハンズオンデータを使用)
12	オートキャド実習④-3 作図練習編 ・平面詳細図の作成(ハンズオンデータを使用)
13	建築基準法概論(集団規定①)用途規制・高さ制限・斜線制限・日影規制
14	建築基準法概論(集団規定①)用途規制・高さ制限・斜線制限・日影規制
15	建築基準法概論(集団規定②)容積率・建ぺい率・接道義務・42項道路の後退など
16	建築基準法概論(集団規定②)容積率・建ぺい率・接道義務・42項道路の後退など

## 平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	CAD実習（建築上級Ⅱ）	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	植草、山口	
学 年	2年			教科番号	2306	単位数 9.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	△		○			
授業概要	2D：オートキャド 3D：レビットの基本操作法を実習を通して習熟する。					
到達目標	①オートキャド：RC造集合住宅の平面詳細図を作成できる。 ②レビット：楠祭に展示する3Dモデルの制作からVRレンダリングができる。					
教材名	配布資料					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	建築設計・CAD等の企業を経営する教員 建築設計の業務に携わり、企業等へ建築ソフトの講師として従事経験のある教員					
履修に あたっての 留意点	・提出物の項目は、完成度だけでなく提出期限が守られていたかなども評価対象とする。 ・授業の理解度をはかるため定期的に小テストを実施し、それも評価に含め					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	10%	10%	25%	50%	5%	100%

回数	講義内容
1	【Revit】基本操作①-1 ・インターフェース解説 ・マウス操作練習
2	【Revit】基本操作①-2 ・インターフェース解説 ・マウス操作練習
3	【Revit】基本操作②-1 ・プロジェクトブラウザ解説 ・各種選択方法練習
4	【Revit】基本操作②-2 ・プロジェクトブラウザ解説 ・各種選択方法練習
5	【Revit】モデリング①-1 通り芯と壁のモデリング
6	【Revit】モデリング①-2 通り芯と壁のモデリング
7	【Revit】モデリング②-1 柱・ドア・窓
8	【Revit】モデリング②-2 柱・ドア・窓
9	【Revit】モデリング③-1 床・天井
10	【Revit】モデリング③-2 床・天井
11	【Revit】モデリング④-1 1階・基準階の作成
12	【Revit】モデリング④-2 1階・基準階の作成
13	【Revit】モデリング⑤-1 屋根・パラペットの作成
14	【Revit】モデリング⑤-2 屋根・パラペットの作成
15	【Revit】属性情報①-1 ・表示グラフィックス解説 ・寸法の入力練習
16	【Revit】属性情報①-2 ・表示グラフィックス解説 ・寸法の入力練習
17	【Revit】属性情報②-1 ・タグの入力 ・寸法の入力練習
18	【Revit】属性情報②-2 ・タグの入力 ・寸法の入力練習
19	【Revit】属性情報③-1 ・集計表の作成 ・シートの作成
20	【Revit】属性情報③-2 ・集計表の作成 ・シートの作成
21	【Revit】楠祭作品作成
22	【Revit】楠祭作品作成
23	【Revit】楠祭作品作成
24	【Revit】楠祭作品作成
25	【Revit】VRレンダリング①-1
26	【Revit】VRレンダリング①-2
27	【Revit】VRレンダリング②-1
28	【Revit】VRレンダリング②-2
29	【Revit】プレゼン技法①-1
30	【Revit】プレゼン技法①-2
31	【Revit】プレゼン技法②-1
32	【Revit】プレゼン技法②-2

回数	講義内容
33	【Revit】ファミリの基本解説①
34	【Revit】ファミリの基本解説②
35	【Revit】ファミリの作成①-1 ・チェストの作成
36	【Revit】ファミリの作成①-2 ・チェストの作成
37	【Revit】ファミリの作成②-1 ・チェストの作成
38	【Revit】ファミリの作成②-2 ・チェストの作成
39	【Revit】ファミリの作成③-1 ・照明器具の作成
40	【Revit】ファミリの作成③-2 ・照明器具の作成
41	【Revit】ファミリ応用編①-1 ・外部データのファミリ化
42	【Revit】ファミリ応用編①-2 ・外部データのファミリ化
43	【Revit】ファミリ応用編②-1 ・自由制作
44	【Revit】ファミリ応用編②-2 ・自由制作
45	【Revit】ワークシェアリング①-1
46	【Revit】ワークシェアリング①-2
47	【Revit】ワークシェアリング②-1
48	【Revit】ワークシェアリング②-2
49	【AutoCAD】
50	【AutoCAD】
51	【AutoCAD】
52	【AutoCAD】
53	【AutoCAD】
54	【AutoCAD】
55	【AutoCAD】
56	【AutoCAD】
57	【AutoCAD】
58	【AutoCAD】
59	【AutoCAD】
60	【AutoCAD】
61	【AutoCAD】
62	【AutoCAD】
63	【AutoCAD】
64	【AutoCAD】

回数	講義内容
65	【AutoCAD】
66	【AutoCAD】
67	【AutoCAD】
68	【AutoCAD】
69	【AutoCAD】
70	【AutoCAD】
71	【AutoCAD】
72	【AutoCAD】

## 平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	コンピュータグラフィックスⅡ	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	吉橋	
学 年	2年			教科番号	2307	単位数 6.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	△		○			
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Photoshop、Illustratorを使った画像編集技術を学ぶ</li> <li>・ 3dsmaxでの建築物や家具小物の制作技術を学ぶ</li> </ul>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>①形状を3dsmaxでモデリングできる</li> <li>②建築パース図をレンダリングできる</li> <li>③レンダリング画像をPhotoshopでライティングの変更や実写との合成編集ができる</li> <li>④illustratorを使って自分の作品をポートフォリオ・プレゼンボードに体裁よくまとめることができる</li> </ul>					
教材名	・ 授業配布プリント					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務 経験の関連 性	自動車関連部品企業で設計業務に従事していた教員					
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提出物の項目は、完成度だけでなく提出期限が守られていたかなども評価対象とする。</li> <li>・ スマートフォンアプリやwebでの動作検証、スマートフォンアプリやweb教材の参照、e-ラーニングでの学習を除きスマートフォンなどの使用は禁止する。</li> </ul>					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	70%	0%	30%	0%	100%



回数	講義内容
1	1年次復習 1年次で学んだCG技術をおさらいする。
2	〃
3	〃
4	〃
5	コンペティションへの参加 プロダクトデザインに関する公募を1つ以上選択し、作品を制作して、応募する。
6	〃
7	〃
8	〃
9	3dsmax① 基本操作を学習する
10	〃
11	3dsmax② 建物をモデリングする
12	〃
13	3dsmax③ カメラの設定を行う
14	〃
15	3dsmax④ 外観マテリアルを適用する
16	〃
17	3dsmax⑤ 外観のライトと環境設定・レンダリングを行う
18	〃
19	3dsmax⑥ 室内空間をモデリングする
20	〃
21	3dsmax⑦ 家具・小物をモデリングする
22	〃
23	3dsmax⑧ 内観のカメラ設定を行う
24	〃
25	3dsmax⑨ 内観の外光とライティングを行う
26	〃
27	3dsmax⑩ 内観のマテリアル設定を行う
28	〃
29	3dsmax⑪ 内観のレンダリング設定を行う
30	〃
31	楠祭準備
32	〃

回数	講義内容
33	3dsmaxとRevitとの連携 Revitで制作した建築データを3dsmaxにインポートし、マテリアルの設定やレンダリングを行う
34	〃
35	〃
36	〃
37	実写合成 レンダリングした画像をPhotoshopを使って現実の写真と合成させる
38	〃
39	〃
40	〃
41	プレゼンボードの作成 建築パースをプレゼンボードにまとめる
42	〃
43	〃
44	〃
45	2年間のまとめ 2年間のまとめとして自分の作品をまとめたポートフォリオを制作する
46	〃
47	〃
48	〃

## 平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	プロジェクト企画	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	吉橋	
学 年	2年			教科番号	2308	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	△		○			
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楠祭での円滑なブース運営を目標に、企画立案とスケジュールリングを行う。</li> <li>・ ビジネスフレームワークやアイデア発想法を体験し、思考のまとめ方やアイデアを創出する手法を学ぶ</li> </ul>					
到達目標	<p>①Excelなど表計算ソフトを使ってガントチャートを用いたスケジュール表が作成・管理ができるようになる。</p> <p>②ファシリテーター指導のもと、提示された課題・テーマに基づき、ブレインストーミングからKJ法による意見・解答の構造化までの一連の流れを行うことができる。</p> <p>③PDCAサイクルの一連の流れを学び、実践できる</p>					
教材名	・ 授業配布プリント					
資格の 取得目標	・ なし					
授業内容と 教員の実務 経験の関連 性	自動車関連部品企業で設計業務に従事していた教員					
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提出物の項目は、完成度だけでなく提出期限が守られていたかなども評価対象とする。</li> <li>・ スマートフォンアプリやwebでの動作検証、スマートフォンアプリやweb教材の参照、e-ラーニングでの学習を除きスマートフォンなどの使用は禁止する。</li> </ul>					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	50%	20%	30%	0%	100%

回数	講義内容
1	授業の目的 PDCAサイクル、ガントチャート
2	アイデア発想法の実践 ガントチャートの作成
3	アイデア発想法の実践 ガントチャートの作成 企画原案の作成
4	アイデア発想法の実践 ガントチャートの作成 企画原案の作成
5	アイデア発想法の実践 企画原案の作成 個人制作の計画
6	アイデア発想法の実践 企画原案の作成 個人制作の計画
7	企画原案の作成 個人制作の計画
8	個人制作の計画・制作
9	個人制作の計画・制作
10	個人制作の計画・制作
11	楠祭出展準備、グーグルフォームの使い方
12	楠祭出展準備、グーグルフォームの使い方
13	楠祭出展準備
14	楠祭出展準備
15	楠祭出展準備
16	楠祭出展準備
17	PDCAサイクルの実践 楠祭の反省 卒業研究のチーム決定
18	卒業研究のスケジュール管理
19	卒業研究のスケジュール管理
20	卒業研究のスケジュール管理
21	卒業研究のスケジュール管理
22	卒業研究のスケジュール管理
23	卒業研究のスケジュール管理
24	卒業研究のスケジュール管理
25	卒業研究のスケジュール管理
26	卒業研究のスケジュール管理
27	卒業研究のスケジュール管理
28	卒業研究のスケジュール管理
29	卒業研究のスケジュール管理、発表練習
30	卒業研究のスケジュール管理、発表練習
31	卒業研究のスケジュール管理、発表練習、総括
32	卒業研究のスケジュール管理、発表練習、総括

## 平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	プレゼンテーション技法	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	吉橋	
学 年	2年			教科番号	2309	単位数 3.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	△		○			
授業概要	Microsoft Office Power Pointの操作を覚えながら、プレゼンテーションの基礎知識を学ぶ。					
到達目標	①PowerPointを使って簡単なプレゼンテーション資料を作成できる ②プレゼンテーションに必要な発声・仕草ができている ③プレゼンテーションに必要な台本を作成できる					
教材名	・30時間でマスタープレゼンテーション+PowerPoint2016 実教出版 企画開発部 実教出版					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務 経験の関連 性	自動車関連部品企業で設計業務に従事していた教員					
履修に あたっての 留意点	・提出物の項目は、完成度だけでなく提出期限が守られていたかなども評価対象とする。 ・スマートフォンアプリやwebでの動作検証、スマートフォンアプリやweb教材の参照、e-ラーニングでの学習を除きスマートフォンなどの使用は禁止する。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	50%	30%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	プレゼンテーションとは パワーポイントの操作方法
2	〃
3	〃
4	〃
5	卒研中間発表準備
6	〃
7	〃
8	〃
9	簡単なプレゼンテーションを作成する①
10	〃
11	簡単なプレゼンテーションを作成する②
12	〃
13	簡単なプレゼンテーションを作成する③
14	〃
15	2020年に流行るであろう商品
16	〃
17	〃
18	〃
19	〃
20	〃
21	卒業研究発表会 プレゼン練習
22	卒業研究発表会 プレゼン練習
23	卒業研究発表会 プレゼン練習
24	卒業研究発表会 プレゼン練習

## 平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	卒業研究	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	吉橋	
学 年	2年			教科番号	2310	単位数 15.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	△		○			
授業概要	2年間の総合的な学習成果として、グループで作品をつくる					
到達目標	<p>①卒業研究の意義に基づいて立案した企画が、指導担当教員の承認を得ることが出来る</p> <p>②自ら立てたスケジュールに基づき、作業を遂行し記録することができる</p> <p>③グループで定めた完成目標に基づき、修得した知識・技能や自主的な調査・研究を行い、作品という形で具現化できる</p>					
教材名	なし					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務 経験の関連 性						
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提出物の項目は、完成度だけでなく提出期限が守られていたかなども評価対象とする。</li> <li>・ 授業態度の項目は、授業の終期に個人及びグループ総括を行い、作品及びグループへの貢献度も評価対象とする。</li> </ul>					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	35%	35%	20%	10%	100%

回数	講義内容
1	卒業研究の意義、卒業研究授業スケジュール管理について、提出フォルダ構成の説明
2	テーマ検討・決定、グループ編成、
3	〃
4	〃
5	〃
6	〃
7	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
8	〃
9	〃
10	〃
11	〃
12	〃
13	〃
14	〃
15	〃
16	〃
17	〃
18	〃
19	〃
20	〃
21	〃
22	企画書作成・編集、週間作業報告書作成、中間チェック(企画書の内容を教員にプレゼンテーションする)
23	〃
24	〃
25	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
26	〃
27	〃
28	〃
29	〃
30	〃
31	〃
32	〃



回数	講義内容
33	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
34	〃
35	〃
36	〃
37	〃
38	〃
39	〃
40	〃
41	〃
42	〃
43	〃
44	〃
45	〃
46	〃
47	〃
48	〃
49	〃
50	〃
51	〃
52	〃
53	〃
54	〃
55	〃
56	〃
57	〃
58	〃
59	〃
60	〃
61	〃
62	〃
63	〃
64	〃

回数	講義内容
65	〃
66	〃
67	〃
68	〃
69	〃
70	〃
71	〃
72	〃
73	〃
74	〃
75	〃
76	〃
77	〃
78	〃
79	〃
80	〃
81	〃
82	〃
83	〃
84	〃
85	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成 β版(動作確認が可能な)作品提出
86	〃
87	〃
88	〃
89	〃
90	〃
91	〃
92	〃
93	〃
94	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
95	〃
96	〃

回数	講義内容
97	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
98	〃
99	〃
100	〃
101	〃
102	〃
103	〃
104	〃
105	〃
106	〃
107	〃
108	〃
109	〃
110	〃
111	〃
112	グループ作業、個人作業、研究発表会準備、 発表前最終チェック(作品の内容を教員にプレゼンテーションする)
113	〃
114	〃
115	〃
116	〃
117	卒業研究総括
118	卒業研究総括
119	卒業研究総括
120	卒業研究総括

## 平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	キャリアデザインⅡ	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	吉橋	
学 年	2年			教科番号	2311	単位数 6.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	○					
授業概要	キャリア教育を通じて、職業人として必要な責任感、誠実さ、協調性、柔軟性、倫理観を持ち、社会的・職業的自立に向けた基盤となる能力や態度を学び、修得する。そのために、実践行動学プログラムや、アサーショントレーニングなど複合的に学ぶ。					
到達目標	①学ぶこと、働くことの意義、多様性を理解する。 ②実践行動学や自己ブランディングや外部・内部講演などを通じて、自己理解が出来る。 ③自己の適性に合わせた内定先を見つけ、積極的な就職活動を行う。 ④規律ある学生生活を送る。 ⑤行事の意義を理解し、積極的に役割を持ち、参加する。					
教材名	・ 社会人になるためのビジネスコミュニケーション&マナー インフォテックサーブ出版 ・ 夢実現のための実践行動学 実践行動学研究所出版 ・ 授業配布プリント					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務 経験の関連 性	自動車関連部品企業で設計業務に従事していた教員					
履修に あたっての 留意点	・ 提出物の項目は、完成度だけでなく提出期限が守られていたかなども評価対象とする。 ・ スマートフォンアプリやwebでの動作検証、スマートフォンアプリやweb教材の参照、e-ラーニングでの学習を除きスマートフォンなどの使用は禁止する。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	20%	40%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	オリエンテーション、各種委員選出
2	就職活動について
3	実践行動学Part3 社会にでる準備をはじめようマジックドア1
4	就職活動指導
5	実践行動学Part3 社会にでる準備をはじめようマジックドア2
6	適職開発室講義(自己分析と職業選択)
7	実践行動学Part3 社会にでる準備をはじめようマジックドア3
8	校長先生講義(就職活動選考時の心構えと行動について)
9	実践行動学Part3 社会にでる準備をはじめようマジックドア4
10	就職部講義(人事担当からみた今年の学生の情報)
11	実践行動学Part3 社会にでる準備をはじめようマジックドア5
12	就職活動基礎知識の復習
13	就職活動指導(履歴書、自己PRブラッシュアップ)、個人ガイダンス
14	就職活動指導(履歴書、自己PRブラッシュアップ)、個人ガイダンス
15	就職活動指導(サイトの活用、企業との連絡の仕方)
16	就職活動指導(サイトの活用、企業との連絡の仕方)
17	就職活動指導(クラス内情報交換)
18	就職活動指導(クラス内情報交換)
19	就職活動指導(入社試験の種類、模擬試験)
20	就職活動指導(入社試験の種類、模擬試験)
21	就職活動指導(面接指導)
22	就職活動指導(面接指導)
23	就職活動指導(面接指導)
24	就職活動指導(面接指導)
25	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
26	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
27	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
28	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
29	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
30	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
31	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
32	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備

回数	講義内容
33	特別講演(9月)、未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
34	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
35	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
36	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
37	特別講演(10月)、未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
38	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
39	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
40	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
41	特別講演(11月)、未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
42	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
43	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
44	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
45	特別講演(1月)、未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
46	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
47	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
48	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導

## 平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	企業実習	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者		
学 年	2年			教科番号	2312	単位数 3.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		選択
			○			
授業概要	企業や病院でのインターンシップ（保育科はボランティア活動）					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 企業や病院の業務を直接体験することによって、基本姿勢を学ぶ。</li> <li>2. 自分から積極的に挨拶ができるようになる。</li> <li>3. 社会人として通用する立ち振る舞いを学ぶ。</li> <li>4. 社会人として恥ずかしくない言葉遣いができる。</li> <li>5. 自ら報告・連絡・相談ができるようにする。</li> <li>6. 就職活動を真摯に行う心構えをつくる。</li> </ol>					
教材名	補助プリント					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性						
履修に あたっての 留意点						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	10%	10%	30%	50%	100%

回数	講義内容
1	事前学習: 1. 趣旨説明2. 書類の説明3. 企業(病院)の選択 4. 実習日誌(目標)記入
2	事前学習: 1. 趣旨説明2. 書類の説明3. 企業(病院)の選択 4. 実習日誌(目標)記入
3	実習
4	〃
5	〃
6	〃
7	〃
8	〃
9	〃
10	〃
11	〃
12	〃
13	〃
14	〃
15	〃
16	〃
17	〃
18	〃
19	〃
20	〃
21	〃
22	〃
23	事後実習: 1. お礼状の送付2. 実習報告書の提出
24	事後実習: 1. お礼状の送付2. 実習報告書の提出



## 平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	課題研究	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者		
学 年	2年			教科番号	2313	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		選択
	○					
授業概要	各コースに合わせ、課題を設定し研究を行う。					
到達目標	・目標と定めた内容を研究することが出来たか。					
教材名	配布プリント					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性						
履修に あたっての 留意点						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	70%	10%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	研究: 目標をそれぞれ設定し、研究を行う
2	"
3	"
4	"
5	"
6	"
7	"
8	"
9	"
10	"
11	"
12	"
13	"
14	"
15	"
16	"